



## ASIC クラブニュース (第5号)

平成 24 年 9 月 22 日

淡路少年少女発明クラブ

編集委員 西川 玉士 森岡 達

### ☆島内体験学習 (株式会社ムカエ、消防署、ミツ精機株式会社) 8月22日(水)

今年は**株式会社ムカエ**様 (省力化機械の説明)、**津名一宮分署**様 (救急・消火器具の説明や消火訓練)、**ミツ精機株式会社**様 (展示されている航空機の説明・展示館見学) と三カ所もの見学・体験学習の機会を得ることができました。どの見学地でも子どもたちは、興味深げに熱心に説明を聞き、質問をしていました。

どの見学地でも地元で働く皆様に親切丁寧に説明してもらい、貴重な体験をさせていただきました事に深く感謝申し上げます。



軸受の裏表を判別して箱に並べたりする、人の手作業を自動化する機械の設計・製作をしている会社でした。社長さんから機械の説明をもらっています。 (株式会社ムカエ)



見学が終わった帰り、会社の前にて参加者全員で記念撮影をしました。社長さんの「将来、物作りで地域に貢献できる人に育って欲しい」との思いを大事にして欲しいものです。



水消火器での消火訓練だけでなく、泡消火器による消火訓練の見学や放水銃も操作させてもらいました。子どもたちは大喜びでした。帰りには、おみやげまでいただきました。 (淡路広域消防 津名一宮分署)



見学・訓練を終えて最後に消防署の方達と記念撮影をしました。消防署のたくさんの方達に色んな事を教わりました。工夫された救急・消火器具がいっぱいありました。驚きでした。



←最後の見学地、**ミツ精機株式会社**様では到着するなりパンフレット、団扇、飲み物をいただきました。ありがとうございました。屋外では会社の方からジェット戦闘機や輸送ヘリコプター等の説明を受けました。お兄さんありがとうございました。航空機の操縦席に乗ることもできましたよ。

セスナや航空機エンジン等が展示してある展示館に入る前に輸送ヘリコプター前で「ハイチーズ」。その後しばらくして、帰途につきました。もう少し展示館でゆっくり見たかった人も多かったのかも知れませんね。→



## ☆ただいま、クラブ員や指導員はアイデア工作に燃えています

「普段の生活で不便に感じたり、こんな物があればいいのにと考えたり」こんな子どもたちの発想から始まり、それを設計、試作品・完成品の製作までを頑張る「アイデア工作」を進めています。大人でも困難を極める「アイデア工作」、指導員も子どもたちも四苦八苦しながらの取組を進めています。

具体的には、5月・6月はアイデアを出す段階、7月は設計図や工程表を作る段階、8月・9月は試作品・完成品の製作段階、10月初旬に応募・出品となります。これまで7回の活動（約14時間）をすませ、後2～3回で終わろうとしています。もう少しで目的達成・完成、みんな頑張れ！！



↑8月25日（土）のアイデア工作に山本光学株式会社の社員様2名が、指導に来てくれました。ありがとうございました。

今後も将来地域社会に貢献する企業人の卵をよろしくご指導をお願いします。



### 【どんな物を作っているのかな？】

- |             |              |
|-------------|--------------|
| ① らくらく靴履き用具 | ② 水位お知らせブザー  |
| ③ 多用途掃除道具   | ④ 伸び縮みブックカバー |
| ⑤ 便利ヘアドライヤー | ⑥ 太陽電池洗濯物干し機 |
| ⑦ 牛乳パック解体機  | ⑧ 便利食器洗いスポンジ |
| ⑨ 飲み過ぎ警報器   | ⑩ 携帯便利オセロ盤   |
| ⑪ 小鳥餌やり機    | ⑫ 改良布団バサミ    |
| ⑬ ケーキ切り分け器  | ⑭ 電動めがね拭き機   |
| ⑮ エコ歯磨き機    | ⑯ 扇風機の風増加機   |



## ☆ 島内体験学習を終えて（クラブ員の感想）

ぼくは、見学に行っで色んなところで色んな工夫がされているんだなと思いました。ぼくが、見学に行っで一番すごいなと思ったところはミツ精機です。すごいなと思った理由は、いっぱい飛行機を見られたからです。（3年 男子児童）

消防署の見学は、消火器で火を消せたので楽しかった。そして、そこで習ったことが学校の勉強でとても参考になりました。（4年 男子児童）

### 【消防署】

消防署はすごく大きくて、ホースや救急に使われる担架・布などいっぱい種類があつて工夫されているのでびっくりした。

### 【ミツ精機】

荷物人も何でも乗せられる大型ヘリコプターやジェット戦闘機など、本物の飛行機が何機もあつてびっくりしました。本当に飛行機にも乗れたのでうれしかった。（5年 男子児童）

今回の見学で一番心に残っているのは、消防署で放水する道具でもまっすぐ飛んで強い水が出る物と、手で持って水を出す物と、地面におく物もあつてすべて特ちょうがちがうのにびっくりしました。他にも直線に飛ぶだけでなく、とても広いはんいの水を出せるのもあつて、人の命を守るために色々な工夫や発明がされているのだと思いました。（6年 男子児童）

## ☆ 出前講座「ロボットを知ろう」を開講（9月12日水曜日 志筑小学校）

今年度から市内小中学校の児童・生徒に「ものづくりの大切さ」や「基礎的な科学知識の習得」に興味・関心を持たせる事を目的とした出前講座（授業）を実施する事になりました。この取組は、淡路市教育委員会の講師派遣依頼や日本文具財団、全国・兵庫県発明協会のご支援をいただく中で実施の運びとなりました。平日の授業の中で実施する講座は初めての体験で、講師陣も子どもたちと同様に新しい出会いや発見が多くありました。今後も年間6校程度の実施を目指して頑張ります。



←まずロボットのことに ついて映像を交えながら学習しました。二足歩行ロボットのアシモやミームの映像には、驚きましたね。



二足歩行ロボットの操縦も代表者にやってもらいました。楽しそうに挑戦しています。先生より上手にできましたか？ →

↑ 9 / 12 (木) の神戸新聞朝刊

- 4月 1日 入部申込者・保護者説明会並びに面接
- 4月 7日 開始式、オリエンテーション
- 4月 21日 公開発明教室（金環日食観測装置の製作）
- 5月 12日 発明とは何か、アイディアの考え方、出し方  
図面の見方・書き方、危険予知トレーニング
- 5月 21日 金環日食観測（於：津名パラナグア公園）



- 5月 23日 総務・指導部打合せ会（志筑公民館）
- 6月 2日 基礎工作「電気工作の基礎」（森岡指導員）
- 6月 9日 " 「LEDの点灯」（ " ）
- 6月 23日 アイデア工作案 発表会  
" 指導員会（以降、教室終了後毎回実施）
- 7月 7日 A,Bのアイデア・グループ別に製作スタート  
(クラブ員 計18名)  
以降 9月29日まで教室指導 計9回
- 8月 22日 島内体験学習((株)ムカエ,消防署(一宮),ミツ精機(株))  
(クラブ員14名、指導員7名参加、午前中)
- 9月 12日 出前教室の実施(ロボットの勉強、志筑小学校)

----- このあとは -----

- 9月 19日 出前教室の実施(ロボットの勉強、大町小学校)
- 9月 29日 兵庫県学生児童発明工夫コンクールへの  
出品作品の完成(クラブ員16名,作品数16個)
- 10月 13日 課題工作「回転飛行塔」の製作(予定)

※（10月14日以降、年度末までに行う行事は表記を省略しました。）